

世界の国を知る 🌐 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来



ソロモン諸島



【表紙の写真】

左上: マーケットで買い物をする人々

右下: ソロモン諸島の海

Contents

- 01 こんな想いを込めました!
- 02 こんな教材です!
- 03 なぜソロモン諸島?

第1章 ソロモン諸島ってどんな国?

＝豊かな自然に囲まれた地上の楽園＝

- 05 ソロモン諸島ってどこ?
- 07 ソロモン諸島 ウソ? ホント? クイズ
- 09 ソロモン諸島の伝統文化
- 11 ソロモン諸島の農業
- 13 ちょっとブレイク ～ソロモン諸島の歴史～

第2章 へえ～! ソロモン諸島と日本

- 15 ソロモン諸島の産業と日本
- 17 ソロモン諸島と日本
- 19 ちょっとブレイク ～ソロモン諸島の昔話～

第3章 一緒に考えよう! こんな課題

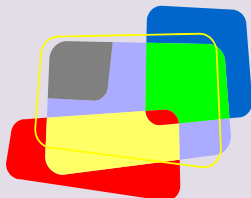
- 21 絶滅危惧種を守ろう!
- 23 ヒトと自然のつながりについて考えよう
- 25 フォトギャラリー

第4章 そして未来へ

- 27 未来を語ろう!
- ～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～

★参考資料★

- 31 目で見るソロモン諸島
- 33 ソロモン諸島地図
- 35 参考文献・データ等の出典
- 35 ご協力いただいた方たち
- 35 2011年度教材作成チーム



こんな想いを込めました！

愛知万博で体験した国際交流の楽しさを広げていきたい/つなげていきたい/
そんな想いが本書作成のきっかけでした。



● 国際交流は楽しい！

『世界大交流』をうたった2005年愛知万博。120カ国の文化や生活に触れたり、いろいろな国の人たちと話をしたりすることは、とても楽しい経験でした。『国際交流』は決して難しいことではありません。自分の視野を広げ、他者を尊重する力を育むことにもつながり、そうした力は多文化共生社会を実現するためにも欠かせません。そんな国際交流の楽しさ、大切さを愛知から発信していきたいと考えました。

● 人の顔が見える教材をつくりたい！

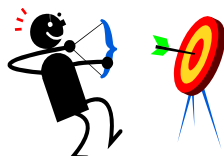
「日本ってこんな国」「日本人ってこんな人」って決めつけられて違和感を感じた経験はないでしょうか？ 国全体の概要を知ることもちろん大切ですが、何となく持っている固定概念をもしかしたら裏切るような、「へえ〜。こんな一面もあるんだ」と意外に思えるような、そんな教材をつくりたいと考えました。そうすることによって、「わたしたちが世界のことをいかに知らないか」ということや「普段見聞きしている情報はほんの一面にすぎない」ということに気づいてもらうとともに、そこに住んでいる人々を身近に感じてもらえたらいいなと思います。

● 世界の国から学ぶ！

どんな国もいいところ、悪いところ、いろいろな面を持っています。何が幸せなのか、「豊か」の基準は何なのか、といった価値観もさまざまです。例えば、途上国だから「かわいそうな国」ではありませんし、紛争があるから「こわい国」でもありません。日本にもたくさん問題があります。様々な国の、特にすばらしいところを知ることによって、対等な関係をつくるとともに、自分たちの地域や生活をふりかえることができると考えました。国にも人にも文化にも優劣はないことを踏まえて、お互いに学び合える関係ができればいいなと思います。

● 未来を創るのはわたしたち！

地球はさまざまな課題を抱えています。環境や人権や平和など、日本も無関係ではありません。地球に住む一人ひとりがそれらの課題に取り組まなければ、よりよい未来を創ることはできないのです。そしてよりよい未来を創るためには、今、地球で起きていることは何なのかを知り、それが自分とつながっていることに気づくことが大切だと考えました。本書に掲載されていることは、地球で起きていることのほんの一部ですが、それらを通して感じたこと、気づいたことが未来につながっていくといいなと思います。



こんな教材です！

次のようなことを考えて作りました。

●ファシリテーター・先生用の教材です

内容については、小学校高学年以上を対象としています。本書自体は、ファシリテーター（参加型プログラムの進行役）や先生に使っていただくための教材となっています。ことば遣いなど、対象に合わせて直してください。必要に応じてコピーし、配布していただいても結構です。

●参加型で使うことができる教材です

情報・知識を聞くだけでなく、考えたり、作業をしたり、話し合ったりすることによって楽しく学べるとともに、その中で何かを感じたり、気づいたりしてもらえようというプログラムにしました。基本的には4～6人のグループに分かれて行うプログラムになっています。必ずしも正解があるものばかりではありません。参加型のプロセスを大切にしてください。

●きっかけづくりの教材です

本書で紹介したのは、ソロモン諸島のほんの一面です。本書だけでソロモン諸島のすべてがわかるわけではありません。ソロモン諸島に親しみを感じ、関心をもってもらうと同時に、自分たちの地域をふりかえり、地球的課題を考えるきっかけとして活用してください。

●使い方は自由です

とはいうものの、使い方は自由です。もちろん、最初から順番にやる必要はありません。対象に応じてプログラムの進め方を変えたり、時間的な条件によって短縮したりするなど調整することもできます。参加者にあわせて、どんどんアレンジして使ってください。巻末に参考資料を掲載していますので、最新のデータが必要なときや、もっと深めたいときは、活用してください。

●カラーデータ・写真はダウンロードできます

カラーデータ・写真については、（公財）愛知県国際交流協会のホームページからダウンロードできます。ただし、著作権は出典元または（公財）愛知県国際交流協会に帰属します。学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。（<http://www2.aia.pref.aichi.jp/koryu/j/kyouzai/kyouzai.html>）

●本書の構成とマークの見方

基本的に、1項目2～4ページで掲載しており、実際に使っていただくプログラムと、それに関する説明とで構成されています。それぞれのプログラムの「ねらい」も記載していますので、参考にしてください。なお、本書で使っているマークの意味は次の通りです。



参加型のプログラムです。
必要に応じてコピーし、配布してください。



プログラムに関する説明です。
ファシリテーター・先生用です。



プログラムのねらいです。



プログラムに使う資料です。
必要に応じてコピーし配布してください。



コピーし、カード等に切り離して
使ってください。



プログラムで模造紙を使います。



プログラムでマジックを使います。



プログラムで付箋を使います。



プログラムでA4用紙を使います。
裏紙等を活用してください。



データ等の出典です。



写真の撮影者です。



なぜソロモン諸島？

始まりは、2005年愛知万博「一市町村一国フレンドシップ事業」

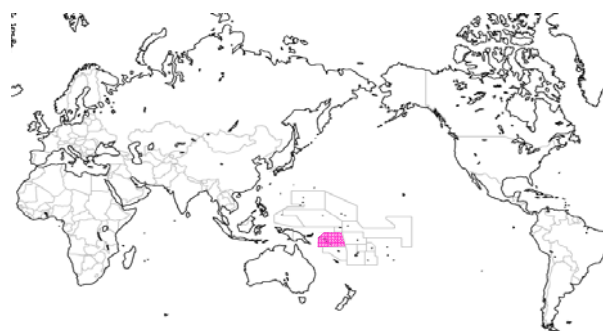
2005年に開催された愛知万博の会期中愛知県内の市町村は、公式参加国120カ国（日本を除く）のホームシティ・ホームタウンとして、地域ぐるみのホスピタリティあふれる受入を行いました。この取り組みを「一市町村一国フレンドシップ事業」と言います。このフレンドシップ事業では次の5つのことをねらいとしました。

- 世界各地から訪れる人々に日本や日本人を理解してもらう
- 迎え入れる地域の人々に、交流を通じて、世界には多様な価値や文化があることを知ってもらう
- 万博会場内だけではなく、地域でもてなすことで、万博を相互交流を深めるための大きな舞台とする
- 地域文化を世界に発信することにより、各地域が自らの文化を再発見し、地域のあり方や発展の方向性について学ぶ機会とする
- 地域に根ざした「人」と「人」との交流を万博終了後も引き継ぎ、世界の人々をつなぐ架け橋としてさらに発展させる

この「一市町村一国フレンドシップ事業」をさらに広げ、つなげていこうと作成したのがこの教材です。
そして、ソロモン諸島のホームタウンは阿久比町でした。



愛知万博／南太平洋共同館



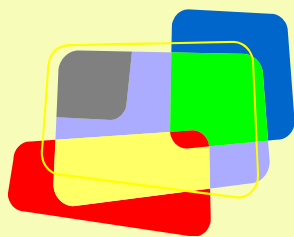
2012年作成 予定国 (38カ国)	アイスランド共和国 アイルランド アルゼンチン共和国 アルメニア共和国 イエメン共和国 ウクライナ エクアドル共和国 オーストリア共和国 カタール国 ギニア共和国 キューバ共和国 ギリシャ共和国 グ アテマラ共和国 クロアチア共和国 コスタリカ共和国 コンゴ民主共和国 サモア独立国 ザンビア共和 国 シンガポール共和国 ジンバブエ共和国 スウェーデン王国 ソロモン諸島 タンザニア連合共和国 チェコ共和国 ツバル ドイツ連邦共和国 トンガ王国 ナイジェリア連邦共和国 ニカラグア共和国 パラ オ共和国 バングラデシュ人民共和国 ブータン王国 ブルネイ・ダルサラーム国 ブルンジ共和国 ペル ー共和国 マダガスカル共和国 モーリタニア・イスラム共和国 ルーマニア
2011年作成 (22カ国)	インド 英国 エチオピア連邦民主共和国 エリトリア国 オーストラリア連邦 ガーナ共和国 カザフスタ ン共和国 コートジボワール共和国 ジブチ共和国 スイス連邦 スペイン王国 デンマーク王国 ノル ウェ王国 バヌアツ共和国 フィリピン共和国 ブルキナファソ ベトナム社会主義共和国 ポーランド共 和国 マレーシア ミクロネシア連邦 メキシコ合衆国 ロシア
2010年作成 (30カ国)	アゼルバイジャン共和国 アンゴラ共和国 アメリカ合衆国 イラン・イスラム共和国 インドネシア共和 国 ウガンダ共和国 カナダ グルジア コンゴ共和国 サントメ・プリンシペ民主共和国 スーダン共和 国 スリランカ民主社会主義共和国 タイ王国 タジキスタン共和国 中華人民共和国 チュニジア共和 国 トルコ共和国 ネパール連邦民主共和国 パプアニューギニア独立国 フィンランド共和国 ブルガリ ア共和国 ベネズエラ・ボリバル共和国 ベリーズ ボスニア・ヘルツェゴビナ ホンジュラス共和国 マーシ ャル諸島共和国 マリ共和国 ヨルダン・ハシェミット王国 リトアニア共和国 ルワンダ共和国
2009年作成 (20カ国)	イタリア共和国 ウズベキスタン共和国 エジプト・アラブ共和国 エルサルバドル共和国 カンボジア王 国 キリバス共和国 キルギス共和国 ケニア共和国 サウジアラビア王国 大リビア・アラブ社会主義人 民ジャマーヒリーヤ国 チャド共和国 ドミニカ共和国 ニュージーランド フィジー諸島共和国 ベナン共和 国 ベルギー王国 ボリビア多民族国 モロッコ王国 モンゴル国 ラオス人民民主共和国
2008年作成 (10カ国)	オランダ王国 カメルーン共和国 ガボン共和国 セネガル共和国 大韓民国 パキスタン・イスラム共和 国 パナマ共和国 フランス共和国 ポルトガル共和国 南アフリカ共和国



第1章

ソロモン諸島ってどんな国？

＝豊かな自然に囲まれた地上の楽園＝

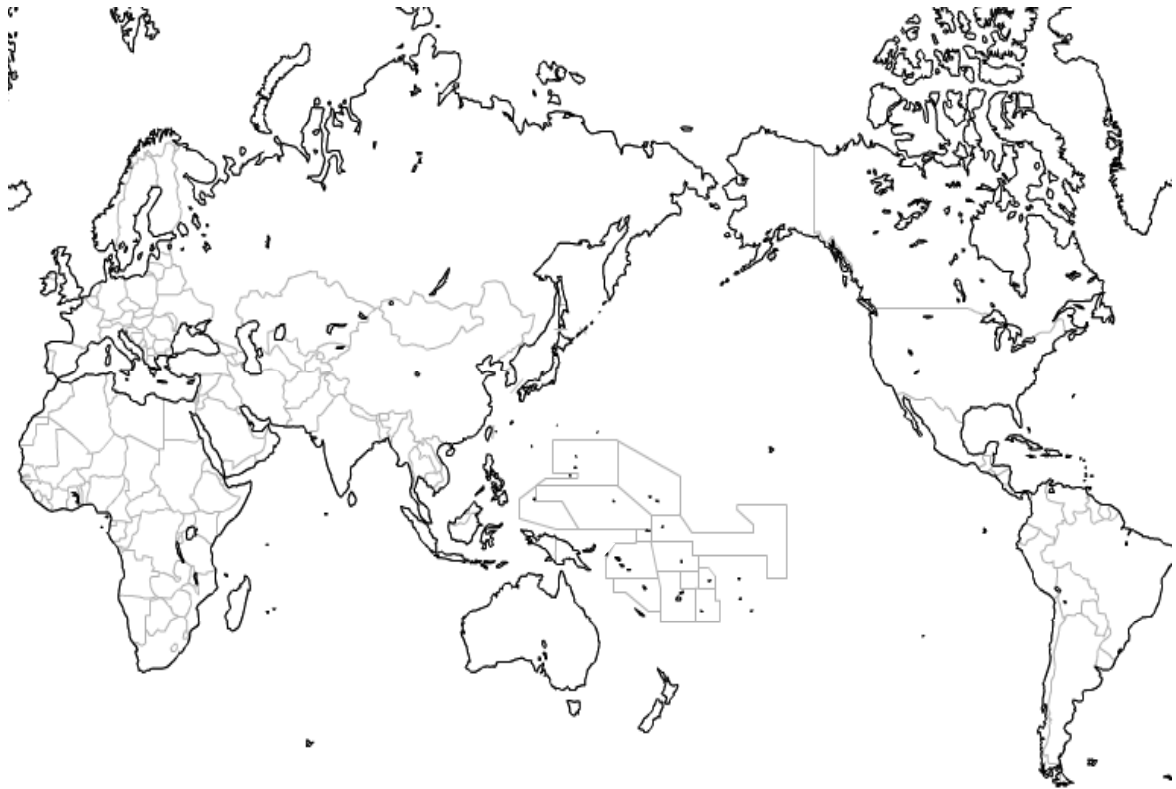


ソロモン諸島ってどこ？



ソロモン諸島はどこにある？ どんな形をしているの？

- ① ソロモン諸島はどこでしょうか？ このあたりだと思うところに印をつけてみよう！



- ② オセアニアの島々は3つのグループ（ポリネシア・メラネシア・ミクロネシア）に分かれます。ソロモン諸島はメラネシアに属しますが、次の3つのうち、メラネシアについて書かれた文章はどれでしょうか？

- ☐ A 小さな島々という意味で、環礁と呼ばれる海拔2メートルぐらいの低いサンゴ島がたくさん広がっている。
- ☐ B 黒い島々という意味で、面積の大きな火山島が多い。そこに居住する人々は、肌の色が黒く髪の毛が縮れている。
- ☐ C 多くの島々という意味で、3つの島を頂点とする三角形の地域の内部。

- ③ ソロモン諸島は1,000近くの小さな島々で構成されています。首都ホニアラがあるガダルカナル島は次のうちどこが一番近い大きさでしょうか？

- ☐ A 愛知県
- ☐ B 東京
- ☐ C 北海道



P.5のこたえと解説です。



ソロモン諸島の地理について知る。

1



ソロモン諸島は、南太平洋のオセアニアに所属しています。オーストラリアの北東、パプアニューギニアの東に位置する、約1,000を数える島々から成る群島国家です。北にはナウル、東にはツバル、南東にはフィジー、南にはバヌアツがあります。

2 **B**

パプアニューギニア、ソロモン諸島、バヌアツ、ニューカレドニア、フィジーが含まれます。

A ミクロネシア

グアム、サイパン、テニアンなどのマリアナ諸島をはじめ、ヤップ、パラオ、チューク(トラック)、ポーンペイ(ポナペ)、コシャエ(コスラエ)、マーシャル諸島、キリバス(ギルバート諸島)などの島々が含まれます。

C ポリネシア

ハワイ諸島、トンガやサモア、タヒチ、クック諸島、イースター島、ニュージーランドなどがふくまれます。なじみのある名前の島々がたくさんあります。

3 **A**

ソロモン諸島の土地面積は29,000km²(四国の約1.5倍)で、環太平洋火山帯に属するため、主な島は火山島であり、熱帯雨林に覆われています。主島のガダルカナルの面積は、愛知県や千葉県よりほんの少し大きい5,336km²です。



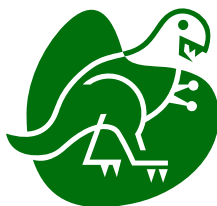
ソロモン諸島 ウソ？ホント？クイズ

❓ ソロモン諸島について書かれたものです。本当だと思うものには○、ウソだと思うものには×をつけてみよう

❶ ソロモンでは今でも貝殻をお金として使っている。



❷ ソロモンは、ゴジラ映画シリーズで舞台となったことがある。



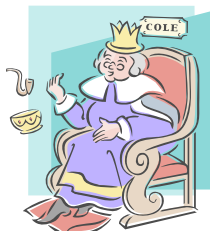
❸ かつて、ソロモンでは人食いの風習があった。



❹ ソロモン諸島にある世界遺産の数は3つ。



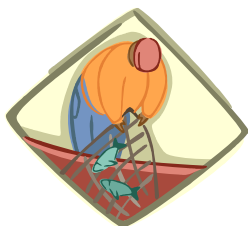
❺ ソロモン諸島の「ソロモン」は古代イスラエルのソロモン王が由来している。



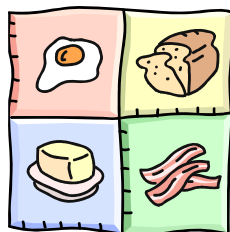
❻ ソロモン諸島では人口の95%がイスラム教徒である



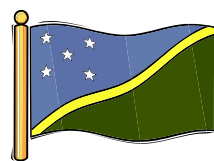
❼ ソロモン諸島の伝統漁では針の代わりに蜘蛛の糸と凧を使う。



❽ ガダルカナル島は日本で満腹島といわれていた。



❾ ソロモン諸島の国旗は、青、緑、黄色と5つの星で構成されているが、星は主要な島の数を指している。





P.7のこたえと解説です。



ソロモン諸島という国を多様な視点から理解する。

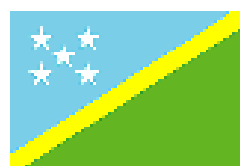
- 1 **○ ホント** ソロモン諸島の通貨はソロモン諸島ドル (S\$) ですが、現在でも一部の地域では、結納金として使われており、結婚が決まった時には親戚中で集まって貝の貨幣 (シェルマネー) を作っているようです。主に冠婚葬祭に使用されています。
- 2 **○ ホント** 1962年に公開された「キングコングVSゴジラ」でキングコングの住む島としてソロモン諸島の一つ、ファロ島が登場しました。ブーゲンビルから南にある島に住む設定です。広大な自然に囲まれた、ソロモン諸島はミステリアスな生き物が暮らす土地として人々の想像力を刺激します。
- 3 **○ ホント** ソロモン諸島は16世紀に発見されました。当初、人食い人種がいて「殺人諸島」と名付けられたそうです。人食いの風習は主に山で暮らす部族にみられたことから、海で暮らす部族に比べ、たんぱく質の補給が困難だったためとも考えられています。また、食することによって相手の力を吸収することができる、とも考えられていたようです。キリスト教の布教に伴い、人食いの風習はすたれていき、今では行われていません。
- 4 **× ウソ** 1つだけ。その唯一の世界遺産である東レンネルは、ソロモン諸島の中でも一番南に位置する島です。世界でもっとも大きな珊瑚島で、自然遺産に登録されています。島の面積の5分の1を占めるテガノ湖は、固有種のシマウミヘビのほか27種のヘビの住処となっています。また、島全体が平均20Mの樹木で覆われており、人を寄せ付けないことから、希少な動物の楽園でもあります。
- 5 **○ ホント** ソロモン王は、旧約聖書に登場する古代イスラエルの王です。大変優れた王で、彼の統治下で国は繁栄しました。1568年に初めてソロモン諸島を訪れたスペイン人の探検家メンダナは、ガダルカナル島で砂金を発見し、それをソロモン王の財宝の一部と信じ、ソロモン諸島と名付けました。
- 6 **× ウソ** 1800年代に欧州諸国から宣教師が布教活動を行いました。初期のころは原住民の攻撃にあい、なかなか布教を広めることが難しかったようですが、度重なる布教活動により、徐々に広まってきました。現在ソロモン諸島では人口の95%がキリスト教徒です。主な宗教はローマンカトリック、アングリカンなどです。
- 7 **○ ホント** ソロモン諸島は海に囲まれた島々から成り立っています。海からは、魚や貝、甲殻類など、豊富な食料を得ることができます。漁獲量を増やすために漁船の大型化や動力化が進んでいますが、蜘蛛の糸の塊を小型の風で遠くまで飛ばして、魚を釣る「カイトフィッシング」という伝統漁も一部の地域ではおこなわれています。
- 8 **× ウソ** ソロモン諸島最大の島・ガダルカナル島は第二次世界大戦の激戦地で、戦争も終盤に差し掛かった頃、食料の供給が絶たれたことにより、日本軍部隊の多くが餓死したことから、「餓島」とよばれました。
- 9 **○ ホント** 豊富な水資源を表す青、豊かな森林に覆われた国土を表す緑、光り輝く太陽の黄色、そして、5つの主要な島 (ガダルカナル島、サンクリストバル島、マレータ島、サントイサベル島、チョイスル島) を表す5つの星で構成されています。



東レンネル  ウィキペディア



街中の教会



ソロモン諸島の伝統文化



独特の文化あふれるソロモン。私たちの暮らしとどんな違いがあるのかな？

次の写真をみて、ソロモン諸島の人々の暮らしを想像してみましょう。どんなものを使っているのか、何をしているところなのか、彼らの暮らしにとってどんな場所なのか、をグループで話し合ってみましょう。

また、ソロモン諸島にあって日本にないものや、その逆も考えてみましょう。

A 住居



B 服装



C マーケット



D 子どもたち



写真提供：中原 二郎/JICA

E 川に密着した生活



F 漁





- A** 高温多湿なソロモン諸島では、日よけと通風が重要です。そのため、住居は熱を蓄えない、隙間だらけのものが良いとされています。ヤシの葉でできた高床式の伝統的な住まいは、環境適応型住居といえます。また、集落全体としても、家の周りには通風を遮る垣根などは作らず、風が通り抜けるようなつくりをすることで、湿気による木材の劣化を防ぐようにしています。家の中は男性用と女性用の居住空間に分かれていることが多く、広さは全体で12畳ほどです。
- B** 高温多湿のソロモン諸島では、男性はTシャツに短パン。女性はワンピースが、一般的な人々の服装です。オフィスで働く人は袖つきのシャツに長ズボン、もしくは半ズボンに靴下を着用します。家庭内では男女とも「ラバラバ」と呼ばれる一枚の布を、男性は腰に巻き、女性は胸から下に巻きつけて着用しています。足元は裸足かビーチサンダルが一般的です。ソロモン諸島の人々は小さなころから裸足で生活をすることが多く、足の裏が角質化しており、裸足のままでも十分楽に歩くことができます。
- C** 町で開催されている青空市場では、近隣の島の農村から、人々が野菜類や果物、魚類を売するために集まってきて、朝から活気に満ち溢れています。都市部の人々は、ここで新鮮な食糧品を購入することができます。また、人々は特に購入するものがなくても市場にやってきて、座って話をしたりしています。青空市場は商品交換や現金収入を得る場であると同時に、人と触れあうことで、つながりを確認して楽しむ場にもなっているのです。
- D** テレビやインターネット、漫画がほとんど広がっていないソロモン諸島では、子供たちは自然に囲まれた暮らしの中で、そこにある自然の恵みから、工夫を凝らしてたくさんの遊びを考えだします。洪水のときに上流から流されてきた大木も、橋の支柱も、川沿いに育つ大きな木々も、子供たちにとっては格好の飛び込み台になります。のどが渇けば木に登ってココナッツを取り、雨が降ればどろどろになって遊びまわるなど、遊びを通して日々自然に触れることで、自然との付き合い方や、資源の大切さ、工夫して作り出すことの楽しさ、自然の恐ろしさなど、たくさんのことを学ぶことができます。
- E** 川は、島から島へ、人を運ぶ道として利用されたり、物資を運ぶことに使われたりします。ものを運ぶほかには、魚や貝など、豊富な食糧を手に入れることができたり、子供の遊び場となったり、衣類・食糧・食器・体を洗うことができます。ソロモン諸島の言葉でシャワーを浴びることを「スイム」といいますが、人々は文字通り川に入って汗を流します。川の水はソロモン諸島で暮らす人々の毎日の生活を支えており、欠かすことはできません。
- F** 海に囲まれたソロモン諸島では、カヌーは、漁に出るときに利用したり、日常の移動手段として利用したりと、毎日の生活に欠かすことのできない乗り物です。日常的に使われるため、ソロモン諸島の子供たちは、小さなころから操縦方法を覚え、だれもが操縦することができます。

ソロモン諸島の家族

ソロモン諸島の人口は約52万人で、約4,000ある集落は平均130人ほどで成り立っています。各部族は独自の言語を持っており、自分と同じ言葉を話す人は同じ部族であり家族である、と考えられています。「ワントク (One Talk)」といわれ、ワントクは家族であり、助け合うのが当然、分かち合うのが当然で、無償で協力し合わなければいけません。この考えはソロモンの人々のルールであり、今でも大切に守られています。また、一族の年長者を尊敬する風習が今日でもしっかりと根付いており、年長者は社会的に重要な役割を担い、敬われています。

ソロモン諸島の農業

❓ ソロモン諸島の人々は何を栽培して食べているのかな？

- ① 次A～Dの写真は、タロイモ、ヤムイモ、キャッサバ、さつまいもの畑です。それぞれどれに当てはまか考えてみましょう。

A



B



C



D



- ② 次の文章はソロモン諸島の伝統的農法である焼畑農法について書かれた文章です。下の選択肢 **A** **B** **C** から、カッコに当てはまる言葉を選んで文章を完成させましょう。

森林や原野を刈り払い、倒した樹木や草本などを燃やしてから、(1) を肥料として陸稲、イモ類、雑穀類などを栽培する農業の手法。数年間にわたり作付けした後、肥料分がなくなると畑を放棄して別の場所に移動する。放棄された耕作地は、他の土地を焼き畑・耕作している間に植生が回復し、再び焼畑として利用できるようになる。しかし、植生の回復には(2) 年以上を必要とするので、継続して焼き畑農業を行うためには、いくつかの土地を上手にローテーションして使う工夫が必要とされる。循環的に資源を利用する、古くから続く伝統的な農業形態。アジアの各地をはじめ途上国では、現在も伝統的な焼き畑農業が行われているところが多いが、近年は伝統的な焼き畑農業のためではなくプランテーションのような大規模な農地造成のために行われることが多くなってきた。日本では(3) から行われてきた農業形態。

- | | | |
|-------------------|----------------|----------------|
| (1) A 灰 | B 土 | C 水 |
| (2) A 1-10 | B 10-20 | C 20-30 |
| (3) A 縄文時代 | B 平安時代 | C 江戸時代 |



P.11のこたえと解説です。



食べ方のうち、特に農作物の栽培方法を通してソロモン諸島に関心を持つ。

1

[A] タロイモ

[B] キャッサバ

[C] ヤムイモ

[D] さつまいも



2

(1) [A] 灰 (2) [B] 10-20 (3) [A] 縄文時代



すべて(4枚):ウィキペディア

ソロモン諸島の食事

ソロモン諸島の主食は、さつまいも、キャッサバ、タロイモ、ヤムイモです。ココナッツで煮たり、焼いたりして食べられています。町部では食料品店で、輸入された食材を入手することができ、米やツナ缶、カレー粉などの消費量も年々増えてきています。フィジーやマレーシアなどから輸入されるインスタントラーメンも日常の食料品として多く消費されています。副菜は魚や貝類が多く、とれたての魚をココナッツミルクで煮たり、石蒸しにした料理が主流です。カニやエビなども食べられています。ココナッツミルク、塩、こしょうでの味付けがほとんどで、調理法は主に「煮」です。肉は一般的に豚肉ですが、文化的に貴重なものとして扱われてもいるため、田舎の村では、クリスマスや冠婚葬祭など、年に2〜3回特別な行事のときにしか食べることができません。

魚や甲殻類は日常で食べられています。田舎の村では漁に頼った暮らしをしているため、天候の影響や、魚が不調のときは、おかずがない状態が続くこともしばしばあります。



焼畑農法

本来、伝統的焼畑農法は、一時的に森を焼き払うため、一見すると森林を破壊しているように見えますが、森を焼くことで農薬を使わずに土壌や病害虫を消毒する効果があり、また、数年後には土地を休ませて地力を回復させ、森を復活させることから、自然環境にやさしい、気長な循環型農法といわれてきました。ところが近年、日本では、人口増加により、不必要に土地を開拓し、地力の回復が不可能になるまで土地を酷使することから、森林破壊が著しく進み、焼畑農法は森林破壊だと考えられるようになりました。このことから現在は定置型有機農業を進める動きが進んでいます。



ちょっとブレイク ～ソロモン諸島の歴史～



ソロモン



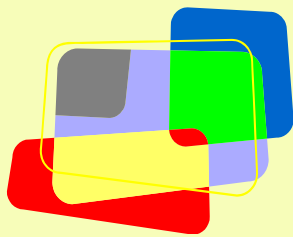
その時日本は…

1568年	スペイン人探検家・メンダナが、サンタ・イザベル島に来航し、「ソロモン諸島」と名づける	1560年	桶狭間の戦いで織田信長が今川義元を破る。
1769年	サンタサベル島に住む少年がソロモン諸島人で初めてヨーロッパへ渡る	1582年	本能寺の変
1820年	欧米の捕鯨船が水や食料の補給のためソロモン諸島へ立ち寄るようになる	1586年	豊臣秀吉が太政大臣になる
1845年	フランス人宣教師エパルが、初めてソロモン諸島における布教のため上陸するが抵抗により撤退	1603年	徳川家康が江戸幕府を開く
1847年	英国国教会系メラネシア・ミッションが布教を開始	1854年	ペリー来航。日米和親条約締結。鎖国の終了
1886年	ショートランド諸島、チョイスル島、サントイサベル島がドイツ領になる	1866年	大政奉還。武家政治の終了
1893年	イギリスが、南ソロモン諸島領有を宣言	1868年	一世一元の制。年号を明治と定め、天皇一代につき年号一つとした
1896年	植民地政府による、ヘッドハンティング（首狩り）を行う集団の村の焼き討ち	1885年	内閣制度ができ、伊藤博文が初代の内閣総理大臣に就任
1899年	カトリック・ミッションが再びソロモン諸島で布教をはじめ	1889年	大日本帝国憲法公布
1900年	ドイツ領だった北ソロモン諸島をイギリスが取得。コブラ産業を開始	1894年	日清戦争がはじまる
1901年	ヘッドハンティング時代の終わり。キリスト教への改宗者の急増	1904年	日露戦争がはじまる
1942年	日本軍、ソロモン諸島を一時占有	1912年	大正天皇即位
1943年	激戦の末（戦死者約2万人）米軍に奪取され、日本軍撤退（1950年まで米軍が駐留）	1914年	第一次世界大戦勃発
1944年	戦争で打撃を受けたツラギにかわり、ホニアラが首都になる	1926年	昭和天皇即位
1950年	太平洋戦争以来駐留していたアメリカ軍の撤退	1939年	第二次世界大戦勃発
1975年	イギリス領ソロモン諸島が自治領に移行し「ソロモン諸島」となる。	1941年	太平洋戦争勃発
1976年	「ソロモン諸島」として自治政府樹立	1945年	アメリカ軍による、広島・長崎への原爆投下。
1978年	7月7日英国から独立	1946年	日本国憲法公布
1978年	9月19日国連加盟	1956年	国連加盟
		1964年	東京オリンピック開催
		1972年	沖縄返還



第2章

へえ～！ソロモン諸島と日本



ソロモン諸島の産業と日本



次の問いに答えてソロモン諸島の産業と日本のつながりを考えよう。

① ソロモン諸島の主要輸出品目は木材ですが、全体の輸出総額の約何パーセントをしめているのでしょうか

☐ A 約30%

☐ B 約50%

☐ C 約80%

② 次の写真はソロモン諸島でとれる産品ですが、日本ではおもに何のために使われているのでしょうか。考えてみましょう。

☐ A



☐ B



☐ C



☐ D



☐ E



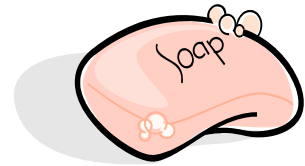


1 **B** 約50%

木材は輸出資源の少ないソロモン諸島の経済を支える主要な輸出品です。ほかには、魚類、コブラ、パーム油、ココア、ココナッツオイルなどがあります。主な輸出国は中国、韓国、タイなどです。ソロモン諸島の木材輸出は世界6位で、陸地総面積が世界144位であることから考えると、森林伐採量のすさまじさがわかります。1978年の独立時、コブラ生産、林業、漁業により支えられてきたソロモン経済は、コブラ生産量の減少に伴い、林業（木材生産）への依存度が高まりました。1980年代には約30万立方メートル/年の生産量であったのに対し、1993年には70万立方メートル、95年には82万立方メートルと右肩上がり伸び続けています。「世界最悪の熱帯雨林破壊」といわれる伐採状況は、深刻な環境破壊を引き起こしています。

2 **A** ココヤシ

ココヤシはラグビーボールくらいの大きさの楕円形で、褐色のかたい殻をもっています。果肉はごわごわとしており、それを剥くと種のココナッツが取り出せて、ソロモン諸島では定番の食事に欠かせません。ヤシの実を乾燥させたものをコブラといい、コブラ油はマーガリンなどの加工食品に使われるほか、日本では石鹸や洗剤などの日用品的な工業製品にも使われています。



B 貝



貝は、ソロモン諸島では冠婚葬祭などで使用されるなど、貨幣として使われたり、食べ物として採取されたり、様々な伝統工芸品に使用されたりしています。黒蝶貝や高瀬貝などは、日本ではよく貝ボタンとして利用され、その多くはソロモン諸島でとられています。

C カツオ

海に囲まれたソロモン諸島は、世界有数の餌場に恵まれています。缶詰や冷凍など、様々な形で諸外国に輸出されます。かつおぶしもその一つで、日本のかつおぶしの多くはソロモン諸島産のカツオです。近年、日本だけでなく、多くの先進諸国でカツオの需要が急増したことから、乱獲による個体数の減少が懸念されています。



D カカオ



カカオの実高温多湿の場所で採取されます。日本の気候はカカオの生産に適しておらず、自国でカカオを生産するためには大量のコストがかかってしまうため、すべて輸入に頼っています。ソロモン諸島での人口一人当たりのカカオ豆生産量は約10kg/年で、これはコートジボワール、ガーナ、サントメ・プリンシペに次ぐ世界第4位です。



E 木材

ソロモン諸島国内でも木材は、家カヌーを作るための材料となるなど、需要がおおくあります。輸出用木材の多くは日本に輸出され、ベニヤ板として利用されます。日本は国土面積に占める森林面積が約66%（森林率約7割）で、先進国の中では有数の森林大国ですが、林業の衰退により、自国の森林資源を使わず、輸入材に頼った暮らしをしています。

ソロモン諸島と日本

① 次の問いに答えてソロモン諸島と日本のつながりを知ろう。

① ソロモン諸島と日本のつながりのある写真です。どんなつながりがあるのか考えてみましょう。

A



B



C



ソロモン諸島と日本は
どんなつながりがあるのかな？



② ソロモン諸島の人々はどんな暮らしをしているのでしょうか。私たちの暮らしと比べながら、a～gに数字をあてはめてみましょう。

★ソロモン諸島の学校は6・3・3・1制。(a)学期制です。小学1年生の年齢は6～(b)歳と幅があります。義務教育制度がないため、設備費や制服代などが負担できずに通えない子供たちもいます。進級試験を受けて、合格者のみが上の学年へ進級できますが、一度失敗すると二度と受験できないため、みな必死に勉強をします。国内の識字率は(c)%です。

★法的に(d)歳から成人とみなされ、飲酒もできるようになります。選挙権が与えられるのと喫煙可能な年齢は(e)歳からです。

★女性は(f)～(g)歳の間に結婚します。一般に結婚は「家族の労働力、子孫繁栄のため、男性側から女性側の家族へお金が渡されます。



1

- A** 太平洋戦争の激戦地となったソロモン諸島。町のいたるところで戦争の跡を見ることができ、今でも畑を掘れば遺骨や遺留品が出てくることがあります。この戦争では日本兵を含め、たくさんの人々の命が奪われました。写真は、当時の面影がそのまま残っている太平洋戦争時の銃器です。
- B** ソロモン諸島唯一の国際空港、ホニアラ国際空港です。第二次世界大戦時に、ソロモン諸島最大の島、ガダルカナル島を拠点とした日本兵によって建設されました。完成目前に、アメリカを中心とした連合軍により襲撃を受けて占拠されました。当時はアメリカ軍によりヘンダーソン飛行場と名付けられ、重要な飛行基地として、この飛行場を巡り両軍の間で熾烈な戦いが繰り広げられました。
- C** ソロモン諸島を訪れる日本人の多くはダイビングを目的としています。サンゴ礁域は世界で最も多種のサンゴが生息する地域で、そこではマンタやウミガメ、バラクーダをはじめとする豊富な種類の生物に触れることができます。また、海の中には太平洋戦争で沈没した戦艦や、戦闘機が無数に眠っています。当時の面影そのままの形で見るすることができます。



太平洋戦争当時、
激戦区であったことが偲ばれます。



2

(a):2 (b):9 (c):54 (d):21 (e):18 (f):17(g):21



通学の様子

地域によっては、自分でカヌーを漕いで学校に通っている子供もいます。ソロモン諸島の学校では教科書はすべて学校のもので、生徒は自分の教科書を持っていません。そのため教科書を写すだけ、という授業が当たり前に行われています。

ソロモン諸島のギゾ島にある小学校へ通う子どもたちです。子どもたちはみんな家から裸足で歩いて来ます。



ちょっとブレイク ～ソロモン諸島の昔話～



青サギと海亀

昔、ソロモンのある小さな村の海岸近くで、たくさんの海亀が捕えられ、柵の中で、明日の生命も保障されない日々を送っていた。村には一羽の青サギが住みついていた。ある日、青サギは自分の餌を捜すため、海岸近くまで来たところ、村の人たちが忙しそうに食事の用意をしているのに出会った。

青サギは、身の危険を感じ、近くのヤシの木のてっぺんにとまることにし、人間どものやることをじっと眺めていた。その下に、木の柵に入れられ、必死に逃げ出そうとしている海亀が目についた。このかわいそうな海亀たちよ!人間の胃袋に入ってしまうのだろう。

この時、青サギはかわいそうなこれら100匹の海亀を救う決心をした。

頭のよい青サギは、自分の餌をとるのをやめ、木の上で夜が更けるのを待つことにした。村人たちが寝静まった頃を見計らって、ただちにこれら100匹の海亀を救うことにした

すーっとヤシの木の上から舞い降りた青サギは、自分の力をふりしぼって、口ばしを使い、一本、一本、木の杭を抜いていった。海亀が逃げ出せるスペースを抜き取った青サギは、「亀さん、亀さん、早くお逃げなさい。朝がやってくる前までには、人間の目が届かない場所まで逃げて行くのですよ」と、やさしい言葉で話しかけた。海亀は、一匹、一匹頭を下げ、青サギに感謝して、自分たちの故郷の海へ逃げていった。

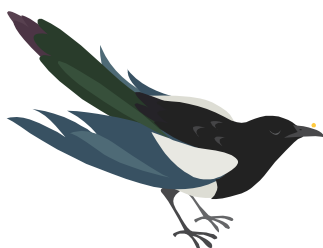
これを見とどけた青サギは、ヤシの木の上まで飛び上がろうとしたところ、全身の力が抜け、すっかり弱り切ってしまった。青サギは、全力を振り絞って、どこかへ逃げようと身をもがいた。そうしなければ、村人たちに殺される。最後の力を振り絞って、近くのヤシの木の上までようやくたどり着いた。

やがてこの村に朝がやってきた。

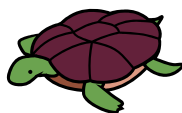
村人たちは朝食の準備をすることにして、食糧の海亀を殺すことにした。手に手にナイフを持った村人たちは、がやがやと大きな声を張り上げ、海亀を閉じ込めている柵の場所までやってきた。

そしてそこには一匹の海亀もいないのに気が付いた。しかも木の杭が数本抜かれている。その時、村人の一人がヤシの木の上で羽を休めている青サギを見つけた。「おい、皆の衆、この仕業はあの青サギの奴にちがいないぞ。弓矢で殺してしまおう」と、全員が家に帰り弓矢を持って駆け戻ってきた。全員は、青サギめがけて一斉に矢を放った。

その中の一本の矢が木の上の青サギにあたった。すると、数本の羽と爪の一部がひらひらと村の人たちの頭上に落ちてきた。そして村の一人の男の両目に羽が刺さってしまった。この男の矢が命中したのだった。この男は失明してしまい、一生青サギのたたりで苦しんだということです。



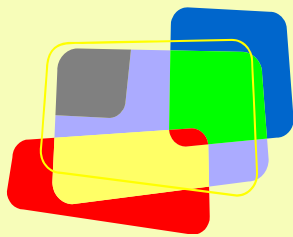
「ソロモン群島に行く」足立英雄著 (大陸書房)
より転載





第3章

一緒に考えよう！こんな課題



絶滅危惧種を守ろう！



絶動物たちの住む世界が今、次々と奪われていっていることを知っていますか？ 人間が引き起こす自然破壊について考えてみましょう。

豊かな自然資源に恵まれて暮らしてきたソロモン諸島の人々も、自然破壊の影響で食糧など、徐々に資源が枯渇し始め、不安を抱えて生活しています。この3章では、その背景を考えてみましょう。

- 1 ソロモン諸島にはたくさんの生物が暮らしています。このうち国際自然保護連動 (IUCN) によって絶滅危惧種に指定されている生き物はどれでしょうか。

☐ A タイマイ ☐ B イリエワニ ☐ C ソロモンオウム ☐ D ジンベエザメ



- 2 地球にいる生物のうち、人間が発見したのは約何種類でしょうか。

☐ A 5万種 ☐ B 70万種 ☐ C 120万種 ☐ D 175万種

- 3 多くの動植物が絶滅の危機に瀕していますが、現在年間どれくらいの数の生物が絶滅しているのでしょうか。

☐ A 100種 ☐ B 4,000種 ☐ C 1万種 ☐ D 4万種

- 4 現在国際自然保護連合が調べた4万7千種の動植物のうち、絶滅しそうな種はどれくらいいるでしょう。

☐ A 7,000種 ☐ B 1万種 ☐ C 1万7,000種 ☐ D 2万5,000種

- 5 原生林 (現在まで伐採や災害などで破壊されたことがなく、人の手がほとんど加えられたことのない自然のままの森林) について書かれた文章について、正しいものには○を、間違っているものには×をつけてみましょう。

☐ A 全陸地面積のわずか7%しか占めていませんが、陸上動植物種の2/3以上がそこに生息しています。

☐ B 商品価値のある木を一本切り出すために、丁寧に一本ずつ伐採しています。

☐ C このまま伐採が続いたら、あと100年で原生林は失われてしまいます。

☐ D 原生林は、そこで暮らす先住民族にとっては、食糧も薬もそうスーパーマーケットのような存在です。

☐ E たとえ原生林が破壊されても、動物たちは他地域に逃げて生き延びることができます。

- 6 生物の絶滅について4~5人のグループになって考えてみましょう。

Step1: なぜたくさんの生き物が絶滅の危機に瀕しているのか、考えられる原因をできるだけたくさんカードに書き出してみましょう。カード一枚につき原因を一つ書いてください。

Step2: 書きあがったカードを模造紙上に出し合って、分類分けしましょう。
分類作業にあたっては、同じグループだと感じる物事に分類分けしてください。

Step3: グループに分けたら、グループを丸で囲み、グループを表すタイトルをそれぞれつけてください。カードやグループ間に何らかの関係性があり、特に示したい場合は、それぞれを線で、結んでください。

Step4: P.24の解説を読み、模造紙に書き出された「原因」のうち、自分の暮らしと関係があると思うものに、印をつけてみましょう。

Step5: ほかのグループがどんなものを書いたのか、見て回しましょう。

- 7 私たちと関係のある「原因」はどれくらいありましたか？ 気付いたこと、感じたことをみんなで話し合ってみましょう。



1 ☐ A タイマイ ☐ D ジンベエザメ

- ☐ A サンゴ礁が発達した海洋に生息します。甲長約90cm、体重約70kg。色鮮やかで、美しい甲羅を持っています。開発による生息地の破壊や、べっ甲の原料となる甲羅を狙っての乱獲により、著しく個体数が減少しました。絶滅危惧IB類EN(近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの)に分類されています。
- ☐ B 現生の爬虫類の中で最大で、全長5~6mで最大の個体は10mに達します。肉食で攻撃的な性質のため、人間や家畜を捕食することもあります。絶滅の恐れはあまりありませんが、生息地の減少や、皮革目的の乱獲により、生息数は減少しています。
- ☐ C 体長は30cmで、体の大部分は白色です。目の周りが青く、薄い色のそった口ばしを持っています。ソロモン諸島のオウムの固有種で、全域に生息します。生息地の減少、ペット売買を目的とした乱獲により、生息数が減少しています。
- ☐ D サメの中で圧倒的な体長を誇る最大の種。世界一大きな魚です。大きな口で海水ごと餌のプランクトンを取り込み、えらを使って濾過をする濾過摂食を行っています。ジンベエザメのフカヒレはすべてのフカヒレの中でも最高級のものとして、乱獲されたことにより、個体数が減少しました。絶滅危惧II類VU(絶滅の危険が増大している種)に分類されています。

2 ☐ D 175万種

地球には約1,300万~1,400万種類の生き物がいると考えられていますが、そのうち人間が発見したのはほんの175万種です。

3 ☐ D 4万種

6,500万年前には1,000年に1種だった数は、1,600年には4年に1種、1,900年には1年に1種、1975年には1年に1,000種と増え続け、そして今では1年に4万種もの生物が絶滅しているといわれています。

4 ☐ C 17,000種

哺乳類では5種に1種、鳥類では8種に1種、両生類では3種に1種が絶滅の危機に瀕しています。どんな生き物が絶滅の危機に瀕しているのかは、国際自然保護連合が作成しているレッドデータブックで知ることができます。

5 ○ ☐ A ☐ D

- × ☐ B 一本の商品価値ある木を切り出すために、17本の不要な木が切り倒されているといわれています。
- × ☐ C このままのスピードで破壊が進めば、あと3~10年以内に消失してしまうであろうと予測されています。
- × ☐ E 先進諸国の自然環境はすでにずたずたにされており、生息できる場所はなく、逃げ場はありません。

6 地球上の生命には、ヒトも含まれれば、トラやパンダ、イネやコムギ、大腸菌、さまざまなバクテリアまで、多様な生物が含まれています。これらの生きものはどれを取ってみても、ただ一種だけで生きていくことはできません。多くの生命は他のたくさんの生物とかかわりを持つことで、初めて生きていくことができるのです。このかかわりをたどっていけば、地球上に生きている生物たちが、すべて直接的・間接的につながり合い、生命の環を織り成していることが分かります。この、生物のつながりを、「生物多様性」と呼んでいます。これは地球という環境そのものであり、そこに息づく生命の全てを意味する言葉に他なりません。現在驚異的なスピードで生物多様性が破壊されています。なぜこのような事態に陥ってしまったのでしょうか。国際自然保護連合の調査によると、生物絶滅の原因の39%は外来種の移入、36%は生息地の破壊、23%は狩猟である、と言われています。ですが、これらの原因は直接的な原因にすぎず、急激な人口増加による資源(食料や燃料)消費量の増大、経済のグローバル化に伴う貿易の対象となる単一品目栽培の推進、生物資源の所有、管理、利益の配分の不公平さ、科学的知識の不十分さによる不適切な破壊行動、全世界共通の法律および制度の不整備など、様々な根深い間接的要因により引き起こされています。

ヒトと自然のつながりについて考えよう



ヒトと自然のつながりについて考えてみよう

- ① わたしたちが生きていくために必要なものって何だろう。この中で必要だと思うものに○をつけてみましょう。



水



空気



食べ物



衣料品



薬



家

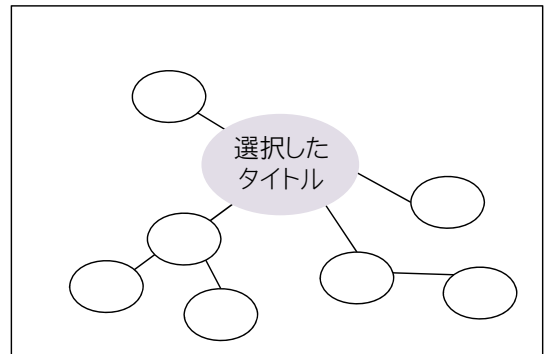


ペット



テレビ

- ② それはどこからやってくるのでしょうか？
4～5人のグループになって、①で○を打った中から、ほかのグループとかぶらないようにひとつ選びましょう。選んだモノを模造紙の真ん中に書いて、それを手に入れるのに必要だと思うものをどんどん書いていきましょう。関連しているもの同士は線で結んでください。



- ③ ヒト以外の全ての動植物が絶滅してしまったら、②の図はどうなるでしょう？
②でできた図の中で、動植物がかかわっているものに×を書いてください。
×を書いたものと結ばれているものにも×をつけていっていきましょう。

- ④ 模造紙を時計回りに回して、ほかのグループの模造紙を見てみましょう。

- ⑤ 動植物が絶滅した世界はどんな世界でしょうか。
想像してみて、どんな世界になるのかをグループで話し合ってみましょう。
その世界について、感じたことをグループで話し合ってみましょう。

- ⑥ 多くの動植物が絶滅を心配されている今、わたしたちにできることには、どんなことがあるでしょうか。

- ⑦ では、私たちが自然を守るためにできることはなんでしょう。
下の9つのカードを、もっとも効果的と思われるものから順に、5つのランクに分けてみましょう。白紙のカードには自分で考えたことを書いてみましょう。上位にした3つについて、具体的にどのような行動が思い浮かぶか考えてみましょう。

★正解はありません。自分の感じた通りの順番に並べてください。



電気をこまめに消す。

不要なものを買わない。

もっと知る。勉強する。

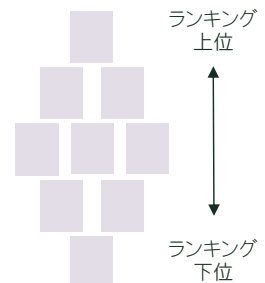
伝える。みんなに教える。

リサイクルを心がける。

環境活動に参加する。

食べ物を大切にする。

包装紙やレジ袋は断る。





人口増加	食糧需要の増加	飽食による乱獲	農地拡大	森林伐採	木材輸出
エネルギーの大量需要	化石燃料の採掘	プランテーション農業 (単一食物栽培)		先進国の介入	農薬散布
生産・運搬のエネルギー消費による二酸化炭素放出	産業廃棄物による汚染	環境劣化	動植物の輸入	毛皮・ペットとしての動物の乱獲	



★ 切り開いてとれた木材や、生産した農作物や海産物、動物由来の製品の多くは、私たち先進国のもとへやってきます。自分たちの国にも資源はあるのになぜ外国から購入するのでしょうか。私たち先進国の人ひとりひとりが贅沢をやめて、環境に配慮した暮らしを心がけることで、多くの生物が絶滅の危機を免れることにつながります。

★ 地球では、歴史上5回の大絶滅が起きたとされています。この5回の大絶滅はすべて自然現象による大絶滅で、数百万年かけて徐々に絶滅しています。もともと絶滅という現象は、新しい種の進化を促し、新しい多様性を作り出すうえで、重要な役割を果たしていました。例えば、恐竜の絶滅は、それまで小動物として隠れて生きてきた哺乳類に進化の場を与え、私たち人間も地球上で繁栄することができました。しかし、現在の「ヒトの手による絶滅」の速度はあまりにも早く、次の世代の種を生み出す進化の時間が追いついていないため、生物多様性が完全に崩壊してしまうのではないかと危惧されています。

われわれ人間にとって、自然の生態系はなくてはならないということを忘れてはいけません。私たちが生きていくために必要な水や酸素、作物、医薬品の素材となる資源、楽しむための場、美しい風景、観光資源…これらのものはすべて自然から得られるものです。人間はほかの生物に依存していて、その恩恵がなくては生きていくことはできません。今のような、人間の都合でほかの生物を搾取する生活では、いつ取り返しのつかない事態になるかわかりません。生物多様性の維持は、私たち人間の存続のためにも大切なことだといえます。

私たちにできること

<電気をこまめに消す>

電気やガス、水道の無駄遣いは、地球温暖化の原因になります。地球の温度が上がると環境がかわり、動物たちはダメージを受けてしまいます。

<不要なものは買わない>

ものを買うということは、資源を消費すること。本当に必要なものなのかどうかをじっくり考えて、衝動買いをなくして、資源の消費を抑えましょう。

<もっと知る、勉強する>

本やインターネットで地球環境のために何ができるのかもっと調べてみましょう。私たち一人一人が学び、考えることで改善の可能性が広がります。

<伝える。みんなに教える>

学んだことや、活動を通じて感じたことを、家族や友達に話してみましょう。より一層考えが深まります。

<リサイクルを心がける>

捨ててしまう前に、ほかに何かに使えないか、誰かが使えないか、をよく考えてみましょう。長く使うことで資源を大切にすることができます。

<環境活動に参加する>

様々な環境活動があります。一人一人が自分に合った活動を、できる範囲で行うことができます。

<食べ物を大切に>

森林伐採の理由の一つは大きな牧場や農場作りです。食べ物を必要以上にたくさん買ったり、外国の食べ物を安く買うより、産地の近い食材を必要な分だけ買うことで、運搬にかかるエネルギーも抑えることができます。

<包装紙やレジ袋は断る>

どうせ捨ててしまう包装紙やレジ袋は、最初から断りましょう。不必要なものを排除して、脱使い捨てを目指しましょう。



フォトギャラリー



貨幣経済の発展と、急激な都市化により、人々の暮らしは大幅に変化しました。木材を輸出することで外貨を獲得することはできましたが、それによって日々森林は破壊され、生物の暮らす場が減少しています。



観光産業が発展し、観光資源として利用された海は年々汚され、そこで暮らす生き物たちに影響を与えています。



写真提供: 中原 二郎/JICA

美しいソロモン諸島の海は、そこで暮らす人々にたくさんの資源を与えてくれます。しかし昨今、先進国の介入による乱獲や開発により、生態系が著しく破壊されつつあります。



写真提供: 中原 二郎/JICA

豊かな暮らしによってもたらされた人口の増加は食糧需要の増加を促進し、農地の拡大や食肉としての生物の乱獲を引き起こしています。





第4章

そして未来へ

※ P. 28の「世界各国からの援助・支援」については、2012年作成教材に当該国の他、下記の国の写真とエピソードが掲載されています。



教材



掲載されている国

アイスランド・キューバ・スウェーデン・ブルンジ	アンゴラ・インド・オーストラリア・英国・エチオピア・エルサルバドル・中国・ポーランド
アイルランド・カタール・グアテマラ・トンガ	アメリカ・ウガンダ・カザフスタン・ベトナム・モロッコ
アルメニア・コンゴ民主共和国・シンガポール・ドイツ	アゼルバイジャン・エジプト・カナダ・カンボジア・スイス・タイ・パプアニューギニア
アルゼンチン・エクアドル・ツバル・バングラデシュ	イタリア・インドネシア・サウジアラビア・チュニジア・パナマ・ホンジュラス・マーシャル諸島
オーストリア・ソロモン諸島・ブータン・ブルネイ	ウズベキスタン・ガボン・ジブチ・スリランカ・デンマーク・ベリーズ・ベルギー
イエメン・ギリシャ・パラオ	キルギス・ノルウェー・パキスタン・フィリピン・ブルガリア・マリ・メキシコ
チェコ・ナイジェリア・マダガスカル	オランダ・セネガル・大韓民国・ドミニカ・ネパール・ボスニアヘルツェゴビナ・ミクロネシア・リトアニア・ルワンダ・ロシア
ギニア・クロアチア・コスタリカ・サモア・タンザニア	イラン・ガーナ・フィンランド・フランス・ベナン・マレーシア・南アフリカ
ウクライナ・ザンビア・モーリタニア	グルジア・スペイン・トルコ・ブルキナファソ・ベネズエラ・ポルトガル・モンゴル
ジンバブエ・ニカラグア・ペルー・ルーマニア	ケニア・スーダン・ニュージーランド・ヨルダン・ラオス

未来を語ろう！～忘れない。日本の強さと世界の優しさ～



2011年3月11日14時46分18秒、東日本大震災が発生。津波により多くの方たちが犠牲になり、多くの街が壊滅しました。この災害で、私たちが学んだことは…？

- ① 3.11の大震災。信じられないような大きな被害を受け、いままで「あたり前」と思っていたことがあたり前でなくなった瞬間でした。みなさんは、どんなことを思いましたか？ まずは自由に話し合ってみましょう。



東日本大震災写真保存プロジェクト

- ② 発災直後から、多くの支援、援助が世界中から寄せられました。また、日本人のモラルの素晴らしさが評価されたという報道も流れました。P. 28～29の資料を見て、どんなことを感じますか？
- ③ 『PRAYFORJAPAN 3.11 世界中が祈りはじめた日』(→P. 29)の中に、こんなメールが紹介されていました。



未来の歴史の教科書に「この大地震で壊滅的な被害を受けたが、日本は見事に立ち直っていった。」というふうに書かれていてほしいです。

さて、みなさんはどんなふうに書かれていてほしいと思いますか？



日本はどうなっていたいでしょう？



みなさんの住む地域はどうなっていたいでしょう？



日本は国際社会の中でどんな存在でありたいでしょう？



そして、世界の国々、この地球はどんなふうになっていて欲しいでしょう？

そうしたことを踏まえ、未来の教科書「2011年3月11日14時46分18秒東日本大震災が発生し、日本は壊滅的な被害を受けました。」の続きを考えてみましょう。

- ④ それぞれが考えた教科書を、みんなで読みあってみましょう。
- ⑤ さて、みなさんが考えた未来の地球、未来の日本、未来の地域を創るために、今、私たちにできることは何でしょう？ グループで話し合ってみましょう。

世界各国からの援助・支援

派遣された救助チーム
専門家チーム

24 カ国/地域
+ **5** 機関

派遣された人数

1,200 名以上

(11月1日現在)

在外公館で受け付けた
義捐金総額

約 **84** 億
5,000 万円

(9月15日現在)

人的支援・物資支援寄
付金等の支援の申し出
(支援意図の表明)

163 カ国/地域
+ **43** 国際機関

(11月1日現在)

外国政府等からの援助
物資・寄付金の提供

126 カ国/地域
国際機関
総額 **175** 億円以上

(11月1日現在)



オーストリア

4月14日、ウィーン少年合唱団がチャリティ・コンサートを開催しました。



デンマーク

3月14日、コペンハーゲン市民有志20人弱が、日本国民に対し哀悼の意を示すためにロウソク点火式を実施しました。



ウズベキスタン

4月5日、タシケント市第216番学校付属「タシケント・福岡センター」の生徒が、震災を悼む絵を日本大使館に渡しました。「私たちのところは日本と一緒に」「被災者に深く哀悼の意を表します」などのメッセージが書かれています。



スリランカ

3月27日、大統領官邸で国内各地での追悼行事を総括する追悼式が行われました。その追悼式で祈る僧侶。



ブータン

3月12日、タシチョゾン（首都内の王宮、寺院、中央官庁がある城塞）で、国王主催の被災者の安全を祈禱する式典が行われました。



ベリーズ

日本大使館の文化事業で黙禱する参加者。



ベルギー

4月11日、聖ミシェル・エ・ギュデル大聖堂で、外務省、バチカン大使及びブリュッセル大主教が、アンドレ・ジョセフ・レオナルド大司教による追悼ミサを共催した。



ブルネイ

ブルネイ王室を代表し、ワドッド王子が、義捐金を日本大使に手渡しました。



ガボン

小学生のメッセージ「あなたたちには、私たちがついてる」



ジブチ

「日本国民と連帯の日」に市民が行進しました。

※ ここに紹介した活動はほんの一部です。他にも多くの活動・支援がありますので、下記のウェブサイトを見てみましょう。



外務省ウェブサイト「がんばれ日本 世界は日本と共にある」『世界各地での支援の様子（フォトギャラリー）』

心が温くなるメール ～『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』より～

2011年3月11日14時58分、ツイッターに「prayforjapan (日本のために祈る)」という投稿が届きました。
そしてそれ以降、何十万というメッセージが世界中から次々に寄せられました。震災時、一時避難所に避難していた大学生が、そのメッセージをまとめたウェブサイトを立ち上げました。そこには、海外からのメッセージの他に、日本国内で起きた心温まるエピソードも寄せられました。
そうしたメッセージやエピソードは『日本の財産である』と、1冊の本にまとめられています。



東横線の車掌さん、アナウンスで「大変なことになってますが、ここが頑張りどころです。みんなで力を合わせて乗り切りましょう」と。たぶん、マニュアル外だと思う。素敵だ(^^)



物が散乱しているスーパーで、落ちているものを律義に拾い、そして列に黙って並んでお金を払って買い物をする。運転再開した電車で混んでいるのに妊婦に席を譲るお年寄り。この光景を見て外国人は絶句したようだ。本当だろう、この話。すごいよ日本。



昨日の夜中、大学から徒歩で帰宅する道すがら、とっくに閉店したパン屋のおばちゃんが無料でパン配給していた。こんな喧騒の中でも自分にできること見つけて実践している人に感動。心温まった。東京も捨てたもんじゃないな。



バイト中に地震があって、ほぼ満席の状態からお客さんに外に避難してもらいました。食い逃げ半端ないだろうな、と思っていたが、ほとんどのお客さんが戻ってきて会計してくれました。ほんの少しの戻れなかったお客さんは、今日わざわざ店に足を運んでくださいました。日本っていい国。



昨日、韓国のツイッターで話題になった話。韓国駐在の日本人がタクシーに乗ってからお金を払おうとしたら、あっさり拒否されたい。「日本人でしょう？ 日本に帰ったら、このタクシー代を寄付しなさい。」国籍とか政治とかは別にして、一般庶民の考え方はみんな同じ。



避難所で4人家族なのに「分け合って食べます」と3つしかおにぎりをもらわない人を見た。凍えるほど寒いのに、毛布を譲り合う人を見た。きちんと一列に並んで、順番を守って物資を受け取る姿に日本人の誇りを見た。



亡くなった母が言っていた言葉を思い出す。「人は奪い合えば足りないが分け合うと余る」。被災地で実践されていた。この国の東北の方々を、日本を、誇りに思います。



M9.0 世界最大級となったのか。じゃ、今後復興のためのエネルギーも愛も、世界最大級にしてくちゃ。



誰かに頑張って欲しいと願うなら、100回『頑張れ』と言うよりも、自分が1回頑張った方が伝わる。私たちが、頑張ろう。



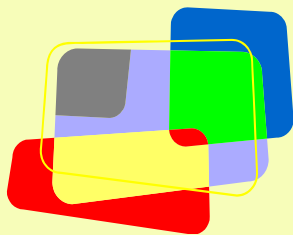
世界各国から勇敢なレスキューチームが東北の被災地へ赴き、危険を顧みずたくさんの人々を救ってくれました。彼らの力強く、そして温かなサポートに心からの感謝を贈りたいと思います。本当にどうもありがとう!!



日本は今まで世界中に援助をしてきた援助大国だ。今回は国連が全力で日本を援助する。

国連からのコメント

参 考 資 料



目で見るソロモン諸島



この国旗は、1978年にイギリスから独立した年に制定されました。青い色は太平洋、川、雨などの水の資源の大切さ、緑は豊かな大地、森林、収穫、そして黄色は太陽を表します。また、5つの星はこの国の5つの州を表しています。

● 人口 ● (2009年)



523,000人



127,156,000人



● 面積 ●



28,900km²
(岩手県の約2倍)



377,947km²

● 言語 ●



英語 (公用語) の他
ビジン英語 (共通語)
を使用

● 気候帯 ●



熱帯雨林気候

● 通貨 ●



ソロモン・ドル

● 宗教 ●

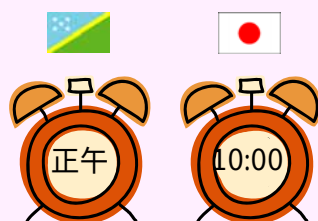
キリスト教

● 民族 ●

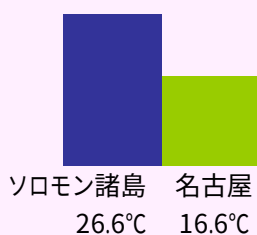
メラネシア系 その他
ポリネシア系 ミクロネシア系
ヨーロッパ系 中国系



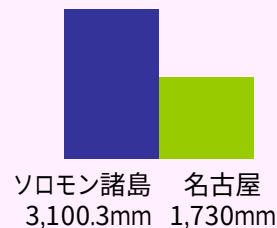
● 日本との時差 ● +2時間



● 平均気温 ●



● 年間降水量 ●



◆国旗:『世界の国旗』吹浦忠正監修 (Gakken)、『世界の国旗と国章大図鑑』荻安望編著 (平凡社) ◆面積・首都・民族・通貨・言語・宗教:外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆人口:世界子供白書2011 (ユニセフ) ◆日本の面積:総務省統計局「日本の統計2011」 ◆気候帯:外務省ウェブサイト「探検しよう!みんなの地球」 ◆平均気温・年間降水量:Solomon Islands National Statistics Office ウェブサイト (2002年のデータ (平均気温はデータより作成)) ◆名古屋の平均気温・年間降水量:愛知県ウェブサイト「一泊一泊情報あいち-土地・気象、人口、農林漁業、事業所」 (平成22年) ◆日本との時差:「世界の国一覧表 2007年版」 (財団法人世界の動き社)

● 主要産業 ●

農業 (コプラ 木材) 漁業



● 人口増加率 ●
(2000～2009年)



2.9%



0.0%

● 日本との
貿易主要品目 ●

木材 加工食品



輸送機器 電気機械

● 一人あたりのGNI ● (2009年)



910米ドル



37,870米ドル



● 5歳未満児の死亡者数 ● (2009年)
(出生1000人あたり)



36人



3人



● 在留邦人数 ●

69人 (2009年10月現在)



● 在日ソロモン人数 ●

33人 (2010年 法務省 外国人登録者数)

● 都市人口の比率 ●
(2009年)



18%

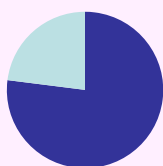


67%

● 成人の総識字率 ●
(2005～2008年)



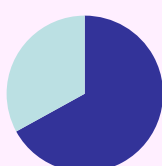
77%



● 初等教育
純就学/出席率 ●
(2005～2009年)



67%



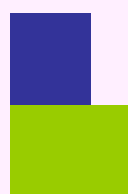
● 出生時の平均余命 ●
(2009年)



67年

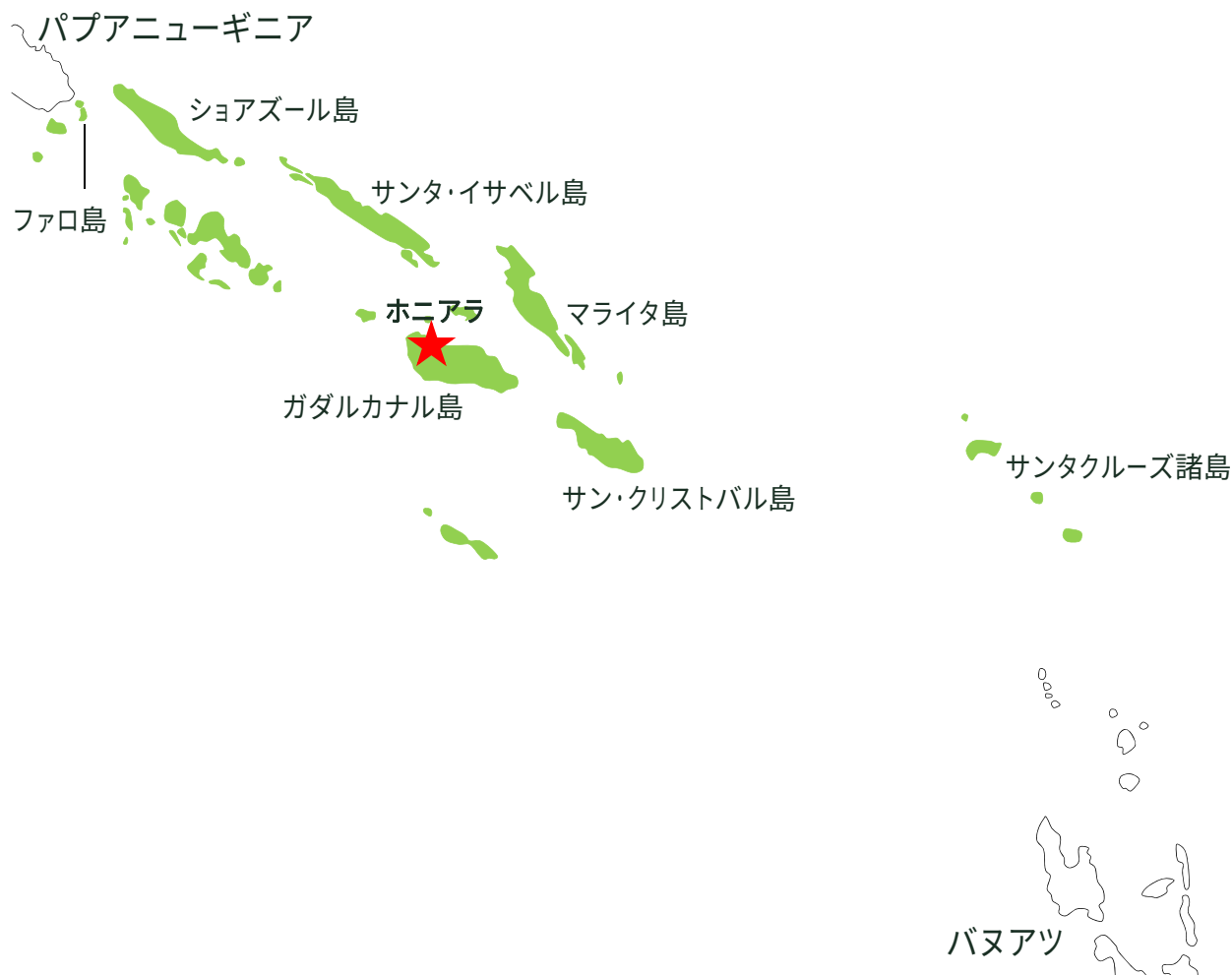


83年



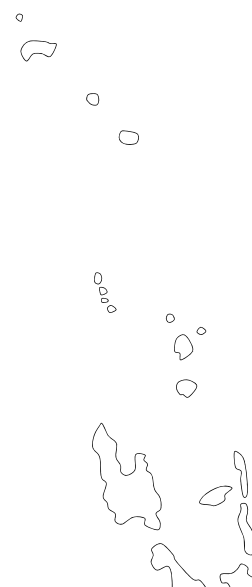
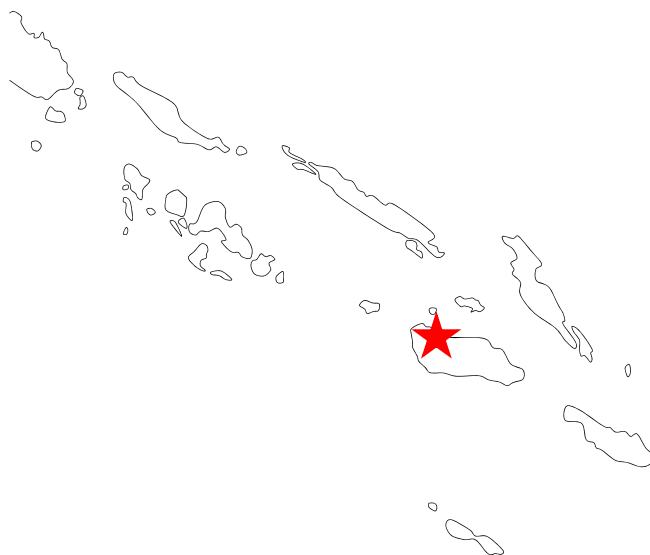
◆主要産業・在留邦人数: 外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」 ◆在日ソロモン人数: 法務省ウェブサイト「登録外国人統計統計表」 ◆日本との貿易主要品目: 国際機関 太平洋諸島センター「各国の概要」 ◆一人あたりのGNI・出生時の平均余命・都市人口の比率・5歳未満児の死亡者数・初等教育純就学/出席率・成人の総識字率・人口増加率: 世界子供白書2011 (ユニセフ)

ソロモン諸島

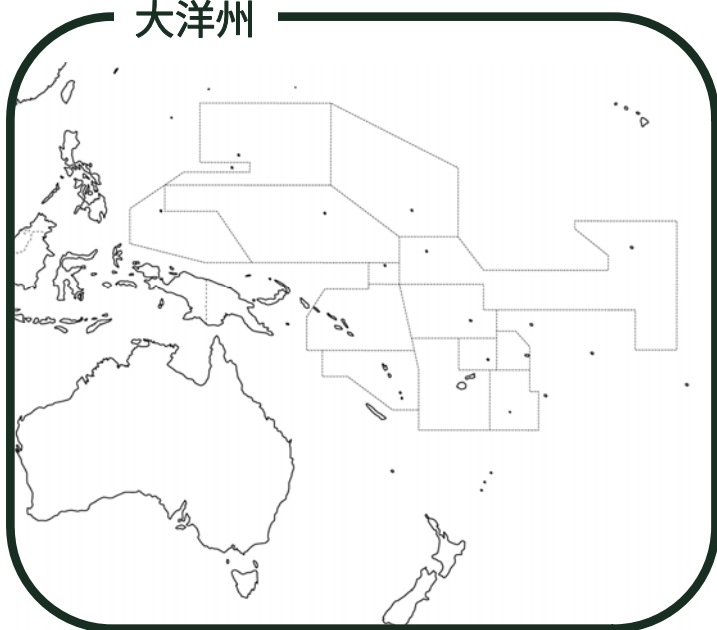


大洋州





大洋州





参考文献・データ等の出典

- 外務省ウェブサイト
 - 「各国地域情勢」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/index.html>
 - 「探検しよう! みんなの地球」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sanka/kyouiku/kaihatsu/chikyu/index.html>
 - 「がんばれ日本! 世界は日本と共にある」 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/saigai/episode.html>
 - 「世界各地での支援の様子 (フォトギャラリー)」 http://www.flickr.com/photos/mofaj_tohoku/collections/
- 総務省統計局ウェブサイト「日本の統計」 <http://www.stat.go.jp/data/nihon/index.htm>
- 公益財団法人日本ユニセフ協会ウェブサイト『世界子ども白書2011』
<http://www.unicef.or.jp/library/index.html>
- 日本ソロモン友好協会名古屋支部 <http://www.we-love-solomon.com/summary.htm>
- 国際機関太平洋諸島センター <http://blog.pic.or.jp/modules/tourism/solomon/1.htm>
- 近代史研究会 <http://www.panda1945.net/index.html>
- SATOYAMAイニシアティブ <http://satoyama-initiative.org/>
- 北海道大学大学院文学研究科 プロジェクト「環境と公正の応用人文科学」
<http://miya.let.hokudai.ac.jp/kosei/sympo0710/miyauchi.html>
- WWF「生物多様性の危機」 <http://www.wwf.or.jp/biodiversity/crisis/>
- United Nations University <http://ourworld.unu.edu/jp/earths-catalogue-now-holds-1-9-million-species/>
- 『PRAYFORJAPAN 3.11世界中が祈りはじめた日』 prayforjapan.jp編 講談社
- 「ソロモン諸島の生活誌」 秋道智彌・関根久雄・田井竜一編著 明石書店(1996年)
- 「ソロモン諸島 最後の熱帯林」 大塚柳太郎編 東京大学出版会 (2004年)
- 「ソロモン群島に行く」 足立英雄著 大陸書房 (1979年)
- 「ソロモン群島探査記―第二次大戦の激戦の島々に行く」 足立英雄著 双葉社 (1967年)
- 「南太平洋を知るための58章―メラネシア・ポリネシア」 吉岡政徳・石森大知編著 明石書店 (2010年)



クレジットに表記のない写真は、日本ソロモン友好協会名古屋支部及び、国際機関太平洋諸島センターより提供していただいたものです。

ご協力いただいた方たち【敬称略】

- 伊藤奈美
- 足立英雄



2011年度教材作成チーム

碧南市 犬山市 あま市 長久手市 扶桑町
 特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター
 公益財団法人 愛知県国際交流協会



世界の国を知る  世界の国から学ぶ
わたしたちの地球と未来

 ソロモン諸島 

2012年3月

**発行
編集**

公益財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001

名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ

TEL: 052-961-7904 FAX: 052-961-8045

E-mail: koryu@aia.pref.aichi.jp

URL: <http://www2.aia.pref.aichi.jp>

印刷

トッパン・フォームズ株式会社



